



## 平成29年度シラバス 人間社会情報科学専攻 空間経済学

English

### ■ 基本情報

本年度実施有無	開講します。
担当教員	教授 曾 道智
教室	情報-412
時間割	2学期(火) 8:50-10:20
講義開始日	10/03

### ■ 授業の目的・概要及び達成目標等

空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、産業の集積や国際貿易などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた新経済地理学・新貿易理論に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の核・周辺地域モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

具体的な達成目標

1. 一般均衡モデルの構築
2. 社会科学の研究手法

英文スライドを使用する。もし受講者の中に日本語を知らない人がいれば、英語で講義を行う。

### ■ 授業計画

- 1回目 序論
- 2回目 新貿易理論誕生の背景
- 3回目 Dixit-Stiglitzの独占的競争モデル
- 4回目 一要素モデル: 自国市場効果と厚生
- 5,6回目 二要素モデル: 資本移動と企業立地
- 7回目 新経済地理学と均衡の安定性
- 8回目 核・周辺モデル
- 9回目 準線形モデル
- 10回目 労働費用がもたらす再分散
- 11回目 都市費用がもたらす再分散
- 12回目 多産業の空間経済
- 13回目 企業関連と立地
- 14回目 空間経済モデルの応用
- 15回目 さらになる勉強のために

### ■ 成績評価方法及び基準

授業への関与度(30%)、宿題(30%)と提出レポート(40%)に応じて評価する。

### ■ 教科書、参考書

教科書

曾道智・高塚創 2016. 空間経済学, 東洋経済新報社(2016年1月現在、出版予定).

参考書

Fujita, M., Krugman P and Venables A., The Spatial Economy, MIT Press, 1999.  
佐藤泰宏・田淵隆俊・山本和博, 2011. 空間経済学, 有斐閣。

次の学術誌の最新文献:

Journal of Economic Geography, Journal of Urban Economics, Regional Science and Urban Economics,  
Journal of Regional Scienceなど

### ■ 関連ウェブサイト

講義のスライドを  
<http://www.se.is.tohoku.ac.jp/~zeng/index.html>  
に掲載。

■ オフィスアワー（面談可能時間）

---

水曜日 16:30－18:00 他にメールあるいは電話等でアポイントメントをとれば随時随時

■ その他

---

1. 授業前に公開されるスライドに基づき予習を行う。2. 授業後は宿題によって復習する。

[↑ページトップへ](#)

Copyright (C) 2005-2007 Graduate School of Information Sciences, Tohoku University. All rights reserved.